

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は、2024年日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。

尚、WRk申請競技会であり、その対象はリレー種目を除くトラック種目と跳躍種目である。また、WA競技用靴規定を適用し、適用除外はしない。これに違反して競技を行った場合は失格とする。審判長が疑義を抱いた場合は、いかなる時でも競技用靴の検査を行う場合がある。

2. 開門時間・練習会場について

① 練習は下記の通り、係の指示に従って行う。

練習会場	開門時間	長良川競技場	補助競技場
月日(曜日)	北ゲート (西ゲート)	練習時間	練習時間
6月13日(木)	8:00 (8:00)	13:00~17:00	13:00~17:00
6月14日(金)	7:00 (8:00)	7:30~9:20	7:30~17:00
6月15日(土)	7:00 (8:00)	7:30~9:30	7:30~17:00
6月16日(日)	7:00 (8:00)	7:00~9:00	7:00~16:00

② 棒高跳の練習は長良川競技場のみとする。ただし、14日は女子のみ、15日は男子のみとする。

③ 投擲練習は、競技前の公式練習のみとし、補助競技場および芝生広場等での投擲練習は禁止する。投擲用具を用いない助走やターンなどの練習は行うことができる。

④ 長良川競技場及び補助競技場でのレーン使用区分は、原則として次のようにする。

練習会場	長良川競技場	補助競技場
中長距離、競歩	周回 1~2レーン	周回 1~2レーン
短距離(リレー)	周回 3~7レーン	周回 3~4レーン
男女400mH	女子…周回 8レーン 男子…〃 9レーン (スタート~バックストレート) ※前日・第1日目・第2日目のみ	女子…周回 5レーン 男子…〃 6レーン (スタート~バックストレート) ※前日・第1日目・第2日目のみ 但し、第2日目は10:00まで4×100mR優先としてハードルは並べない
100mH、110mH	100mHホームストレート6・7レーン ※前日・第1日目のみ 110mHホームストレート8・9レーン ※4日間 ※2日目以降9レーンのみ常設	100mHホームストレート7レーン ※前日・第1日目のみ 110mHホームストレート8レーン ※4日間

※競技用ハードルの台数の都合上、練習で使用するハードルは競技用ハードルとは異なる。

④ 雨天練習場は、晴雨にかかわらず使用可(係員の指示に従うこと。)

⑤ サンサンデッキ駐車場では、いかなる練習も禁止する。

3. 招集について

- ① 招集所は、スタンド下北側（長良川競技場北倉庫付近）に設ける。
- ② 招集時間は次の通りとする。ただし、リレーの予選のみ競技開始30分前から招集し20分前に終わる。

	招 集 開 始	招 集 完 了	
トラック	競技開始20分前	競技開始10分前	※各種目とも招集開始時間に招集を受け、集合完了したら直ちに入場するのでその場を離れないこと。
走 高 跳 走 幅 跳 三 段 跳	競技開始50分前	競技開始40分前	
棒 高 跳	競技開始90分前	競技開始80分前	
投 擲	競技開始50分前	競技開始40分前	
砲 丸 投	競技開始40分前	競技開始30分前	
混 成	第1日目・2日目とも第1種目は招集所で招集を受けること。 （待機場所として女子は女子更衣室、男子は男子更衣室とする。） 第1種目がトラック種目の場合は20分前～10分前、フィールド種目の場合は40分前～30分前で招集する。2種目以降については、トラック競技は競技開始10分前までに、フィールド競技については、競技開始30分前までに競技場所で招集を受けること。 （女子200m・800m、男子400m・1500mの腰ナンバーカードは、現地で配布する）		

- ③ 招集は、本人が行い、完了時刻に遅れた者は棄権したものとして処理する。
- ④ 棄権する場合は、招集開始時刻までに招集所に口頭で申し出ること。
- ⑤ 競技者は、携帯電話・電子機器類等を競技場内に持ち込むことはできない。
- ⑥ 各種目とも競技者の集合が完了後、係員の誘導で直ちに入場するのでその場を離れないこと。
- ⑦ 招集所から競技場へ行くときは係員の指示に従い、高校生競技者としての自覚を持ち、規律ある行動をとること。

4. 競技について

- ① 各県の総監督・男女監督以外は、グラウンド内への出入りを禁止する。
- ② 不正スタートは1回で失格とする。混成競技では2回目以降は誰でも失格となる。
（この場合の失格は、当該競技のみ失格とする国内ルールを適用する。）
- ③ 短距離種目では安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）を走ること。
- ④ 4×100mRの第2・3・4走者は、主催者の用意するマーカー（1ヶ所）を使用することとするが、各自で用意した粘着テープを使用しても良い。（大きさは50mm×400mm以内とする）
- ⑤ リレーのオーダー用紙は、4×100mR 予選は招集完了時刻の1時間前までに、4×400mR 予選は招集完了時刻の30分前までに、両リレーともに準決勝・決勝は招集開始時刻までに招集所競技者係に1部を提出すること。（用紙はプログラムの巻末とTICに用意している）

オーダー用紙 締切り時刻	}	女子4×100mR	大会2日目	予選8:50	準決勝14:00	決勝16:40
		男子4×100mR	大会2日目	予選9:05	準決勝14:10	決勝16:45
		女子4×400mR	大会3日目	予選8:40	決勝15:10	
		男子4×400mR	大会3日目	予選9:00	決勝15:20	

- ⑥ リレー競技の出場者は、原則として同一ユニフォームを着用するものとする。但し、色やデザインが同様で同一のチームと判別可能であれば、形状が異なる衣類を着用してもよい。女子のセパレートとランニングシャツとの混在についても同様とする。
- ⑦ 競技者へのスタンドからの助言については、スタンドに設けられたコーチングエリア内のみで行うことができる。また、認められる助力であるビデオ装置等をスタンド・競技エリア間で受け渡し競技者が映像を見る行為については、本大会では全て禁止する。紐等を用いてビデオ装置等を

選手に近付けるなど、類似の行為も同様に禁止する。コーチが選手に対して映像を見せながら助言する場合は、スタンドから手に持って見せる形であれば認める。

- ⑧ 競技者はビデオ装置・携帯オーディオ機器・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない。持ち込みがあった場合は、競技役員が受け取り、TICで保管し競技終了後に競技者に返却する。
- ⑨ 抗議は、日本陸上競技連盟規則 TR8にもとづき、各県監督が所定の手続きをとること。各県監督はまず口頭でTICに申し出ること。同時に「口頭による抗議受付メモ」に記入する。その後、TICから速やかに審判長へ連絡するものとする。
- ⑩ 予選におけるトラック競技の走路順、並びに跳躍・投擲競技の試技順は、プログラム記載の左側の番号で示す。
- ⑪ スパイクは、トラック・フィールドとも9mm以下を使用すること。ただし、走高跳、やり投は、12mm以下のものを使用する。

5. 計時・プラス上げについて

- ① トラック競技は全て、1/1000秒で計測する。
- ② 準決勝・決勝への進出時に同順位・同タイムが出た場合は、抽選により決定する。

6. 跳躍種目について

- ① 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方（ただし、天候のなどの状況により変更する場合もある。）

	練習A	練習B	練習C	競技開始					
走高跳男子	1m75	1m90		1m80	1m85	1m90	1m95	1m98	以後3cm
走高跳女子	1m45	1m55		1m50	1m55	1m58	1m61	1m64	以後3cm
棒高跳男子	3m90	4m30	4m60	4m00	4m20	4m30	4m40	4m50	以後10cm
棒高跳女子	2m50	2m90	3m30	2m60	2m70	2m80	2m90	3m00	以後10cm
八種走高跳	1m40	1m65		1m45	1m45～1m80までは5cm刻み				以後3cm
七種走高跳	1m20	1m45		1m25	1m25～1m45までは5cm刻み				以後3cm

- ② 第1位及び第6位が同成績の場合、順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。
- ③ 三段跳の踏切板は、男子12m、女子10mとする。

7. アスリートビブス（以下ビブス）について

- ① ビブスは、配布された大きさに胸・背部に確実に付けること。跳躍競技に出場する選手は胸部または背部のどちらか一方でもよい。
- ② トラック競技者と、4×100mRの第4走者、4×400mRの第2～4走者は、写真判定用の腰ナンバー標識（レーンナンバーカード）を招集所で2枚受け取り、ランニングパンツの左右やや後方に着用すること。
- ③ 競歩競技者は、（女子）9:30～10:30（男子）11:00～12:00に各自のビブスをTICに持参し競歩競技用のビブスを受け取り、胸部と背部に付けること。競技終了後に返却すること。

8. 競技用具について

- ① 用具は主催者が用意したものを使用する。但し、棒高跳用ポール及び、やりについては、持参したものを、検査を受けて使用することができる。
- ② 用具の検査は、招集開始30分前から招集開始時刻まで第1ゲート横器具庫（南側器具庫）内で行い、その場で借り上げて競技に使用する。（棒高跳は、現地で行う。）返却は競技終了後、検査

した場所で行う。

9. 商標などのついた物品について

競技者は、競技場内・練習場内に規定にあった物以外は持ち込んではならない。違反すると思われるものは招集場に持ってこないこと。または、予めテープなどを貼り付けておくこと。

10. 開始式について

第1日目の9：30より行う。参加者は、各県陸上競技協会理事長・岐阜県高体連陸上競技専門部長・岐阜陸上競技協会審判長・各県高体連陸上競技専門委員長と、前年度男・女優勝校の代表者とする。

11. 競技方法について

- ① 学校対抗とする。なお県対抗を兼ねる。
- ② 種目別得点は、1位8点、2位7点、・・・・・・8位1点とする。
ただし、混成競技の得点は総合得点にのみ加算し、トラック、フィールドには加算しない。
- ③ 男女別合計得点によって学校順位を決定する。同点の場合は、上位入賞数によって順位を決定する。

12. 表彰について

- ① 学校対抗男女別優勝校には優勝旗を、1～6位までに賞状を授与する。
- ② 男女ともトラックの部及びフィールドの部の1～3位までに賞状を授与する。
- ③ 個人・種目別優勝者にはメダルを、1～8位までに賞状を授与する。
- ④ 決勝終了後、入賞者は1Fロビー内・表彰席で待機し、係員の指示を受けること。選手の人権保護の観点から、ユニフォームでの表彰式参加は控えること。7・8位選手の賞状は表彰席で手渡しとする。なお、東海高校記録樹立のときは、部旗を掲揚してその榮譽をたたえるので、成績発表後直ちに本部へ持参すること。

13. 全国大会出場資格について

東海地区大会で6位までの入賞者。但し、男女走高跳、男子棒高跳は6位（6名）。競歩競技は5位、女子三段跳、女子ハンマー投は4位、女子棒高跳は4位（4名）までの入賞者。混成競技は3位及び、4～6位までの選手を全国で集約し、上位記録5名に出場資格が与えられる。

14. その他

- ① 各校の部旗・のぼり・横断幕設置場所は、バックスタンド及びサイドスタンドの中段及び上段手すりのみとし、必ずひもで止めること。（ガムテープ等は絶対使用しないこと。）通路をふさいだり座席に覆いかぶせたりはしないこと。なお、横断幕（部旗含む）は、各校1張りのみとする。のぼりは、上段手すりのみ各校5本までとする。横断幕については、競技終了後張ったままにしておいてもよいが、風にはためかないように巻き上げておくこと。
- ② 各校の待機場所は、各県で決められた場所及びスタンドを使用すること。（別紙参照）それ以外の場所を使用しないこと。
- ③ 待機場所を確保するための、粘着テープの使用は禁止する。大会開催期間は、シート、荷物等置いておいても構わないが、盗難等の責任は負わない。控え場所のシート、テント、マットは風で飛ばされないようにひもで縛るなどし、壁側に寄せておくこと。
- ④ 男・女更衣室を使用してもよいが、シート等での場所取りは厳禁とする。なお、貴重品は各自の管理とする。
- ⑤ 競技中に発生した傷害や疾病については、応急処置を行うが、以後の責任は負わない。
- ⑥ 各校で発生したゴミは、責任を持って持ち帰ること。また、競技終了後直ちに清掃活動にはいるので、ミーティング等は競技場の外で行うこと。
- ⑦ 駐車場について【有料：3時間100円、以後30分ごとに100円加算、最大1000円。】

サンサンデッキ下駐車場・南駐車場（7：00～）、及びイベント村駐車場（7：30～）、メドウ北駐車場（9：00～）を利用することができる。

※サンサンデッキ下駐車場は利用状況によって規制がかかる場合があります。

- ⑧ 撮影禁止エリア（巻末参照）におけるカメラ、ビデオ等の撮影を禁止する。
上記以外でも審判が不審に感じた場合は、撮影データの開示を求める場合があるため、当該審判の指示に従ってください。
- ⑨ 棒高跳用ボールの送り先は下記とする。

〒502-0817 岐阜市長良福光大野 2675-28

岐阜メモリアルセンター長良川競技場 TEL (058) 233-8822

競技終了後の輸送は各校で準備すること。